島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報 34

―令和７年度―

2026

島根県教育委員会

目　次

埋蔵文化財調査センターの概要 …… 1
Ⅰ　令和７年度の調査体制 …… 3
　1　組織 …… 3
　2　職員一覧 …… 3
Ⅱ　埋蔵文化財活用事業 …… 4
　1　埋蔵文化財調査センター講演会 …… 4
　2　現地説明会 …… 4
　3　文化財講座『いにしえ倶楽部』 …… 5
　4　「ふるさと島根の遺物」貸出事業 …… 5
　5　心に残る文化財子ども塾 …… 5
　6　インターンシップ …… 6
　7　教員のための博物館の日 …… 6
　8　見学等の案内 …… 7
　9　職員の講師派遣 …… 7
　10　その他 …… 8
　11　資料の貸出・調査等 …… 8
Ⅲ　研究事業 …… 11
Ⅳ　研修事業 …… 12
　1　埋蔵文化財基礎研修 …… 12
　2　埋蔵文化財専門研修 …… 13
Ⅴ　会議・講習会等参加 …… 14
　1　会議 …… 14
　2　講習会 …… 15
　3　委員会等 …… 16
Ⅵ　発掘調査事業 …… 17
　1　国道 432 号大庭バイパス建設に伴う発掘調査 …… 18
　2　国道 431 号（松江北道路）道路改築に伴う発掘調査 …… 19
Ⅶ　学術調査ほか …… 20
　1　史跡出雲国府跡 …… 20
　2　考古基礎資料調査研究（墓制調査） …… 21
　3　考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業） …… 23
　4　保存処理・理化学分析 …… 23
　5　試掘確認・分布調査 …… 25
　6　旧海軍大社基地主滑走路跡 …… 26
Ⅷ　県内調査一覧 …… 27

Ⅸ　刊行物 …… 29
1　報告書 …… 29
2　パンフレット …… 30

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では 1980 年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992 年（平成 4）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査および研究
- 出土遺物の分析（軟Ｘ線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日

1992 年（平成 4） 4 月 1 日

所在地

〒 690-0131　島根県松江市打出町 33 番地
電話：0852-36-8608
FAX：0852-36-8025
E メール：maibun@pref.shimane.lg.jp
ホームページ：https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/

施設の構造

収蔵庫棟：鉄骨造二階建　1990 年（平成 2） 6 月竣工　建面積 896㎡
本館棟：鉄筋コンクリート造平屋建　1992 年（平成 4） 3 月竣工　建面積 2,911㎡
ブロアー庫：鉄筋コンクリート造平屋建　1992 年（平成 4） 3 月竣工　建面積 11㎡
いにしえ学習館棟：鉄骨造三階建　1997 年（平成 9） 3 月竣工　建面積 1,317㎡

施設と規模

本館棟	展示室	175㎡
	研修室	155㎡
	所長室	25㎡
	事務室・調査研究室	315㎡
	図書室	73㎡
	資料保管室	75㎡
	特別収蔵室	122㎡
	写場	33㎡
	整理復元室	429㎡
	理化学分析室	35㎡
	鉄器処理室	35㎡
	木器処理室	35㎡
	水洗室	70㎡
	その他	973㎡
	小計	2,550㎡

収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡
	機材庫・車庫	172㎡
	小計	1,620㎡
いにしえ学習館棟	体験学習室	95㎡
	整理復元室	576㎡
	木器保管展示室	197㎡
	仮収蔵室（兼写場）	86㎡
	収蔵庫	2,463㎡
	その他	279㎡
	小計	3,696㎡
ブロア庫	ブロア庫	11㎡
	小計	11㎡
	延床面積合計	7,877㎡
敷地面積		20,980.61㎡

Ⅰ　令和７年度の調査体制

1　組織

島根県埋蔵文化財調査センター

- 所長
  - 総務課長 ――― 総務課 ――― 予算経理、契約事務、施設管理
  - 高速道路調査推進スタッフ ――― 山陰道整備関係等事業の調整、試掘・分布調査
  - 管理課長 ――― 管理課 ――― 調査事業の調整、発掘調査の技術的統括・安全管理、発掘調査工程管理、普及活用、資料管理、研修、研究事業の総括、調査事業（風土記の丘地内）
  - 調査第一課長 ―― 調査事業（大庭バイパス事業、松江北道路事業）
  - 調査第二課長 ―― 調査事業（大橋川改修事業）

2　職員一覧

職　名	氏　名
所　長	間野大丞
総務課	
課　長	坂本孝良
主　幹	高木信太郎
会計年度任用職員一般事務員	三島美葉子 岩成真代 大前孝之 岩﨑順治（～ R7.10.31）
高速道路調査推進スタッフ	
調整監	平石　充
企画幹	宮本正保
主　幹	伊藤　智 久保田一郎
会計年度任用職員専門員	阿部賢治
同　調査補助員	糸賀伸文
管理課	
課　長	東山信治
保存活用係長（主幹）	仁木　聡
主　幹	稲田陽介
主　事	木林俊英 藤原孝大
会計年度任用職員調査補助員	岩橋康子 吉村香織

職　名	氏　名
調査第一課	
課　長	是田　敦
企画幹	林　健亮
主任（暫定再任用）	大庭俊次
主　事	西村　葵
会計年度任用職員調査補助員	飯塚由起 幸村康子 長岡伸幸 角森玲子 上田貴史
調査第二課	
課　長	伊藤徳広
係長（主幹）	神柱靖彦
主任（再任用）	椿　真治
会計年度任用職員専門員	柳浦俊一 園山　薫
同　調査補助員	太田晴美 渡邊真二 阿部智子 福田市子

Ⅱ　埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑におこなうために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業をおこなっている。

1　埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民にわかりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

令和７年度は四隅突出型墳丘墓が検出された朝酌矢田Ⅱ遺跡に焦点を当てた講演会を、以下のとおり開催した。

令和７年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会

「王墓への道―弥生墳丘墓成立の謎にせまる―」

日　時：令和７年 11 月 29 日（土）13：00 ～ 16：30　（12：00 開場）

会　場：松江市市民活動センター

参加者：100 名

主　催：島根県埋蔵文化財調査センター

共　催：松江市

内　容：基調講演　「日本海をめぐる弥生墳丘墓とその時代」

野島　永（広島大学文学部　教授）

報告１　「出雲・石見の弥生墳丘墓―松江市内を中心に―」

今福拓哉（島根県古代文化センター）

報告２　「伯耆・因幡の弥生墳丘墓について」

森藤徳子（公益財団法人鳥取県教育文化財団調査室）

報告３　「丹後の弥生墳丘墓について」

高野陽子（財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター）

パネルディスカッション

「弥生王墓誕生と環日本海交流について」

司会　　野島　永

パネラー　今福拓哉・森藤徳子・高野陽子

2　現地説明会

調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会等をおこなった。

遺跡名	開催日	場所	参加者数	備考
旧海軍大社基地主滑走路跡	令和７年７月19日（土）	出雲市斐川町	30 名	
団原Ⅱ遺跡	令和７年７月26日（土）	松江市大草町	75 名	
史跡出雲国府跡	令和７年11月23日（日）	松江市大草町	60 名	
井上古墳群	令和７年12月13日（土）	松江市下東川津町	12 名	地元向け

3　文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催するイベント。今年度は親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部　夏スペシャル」を２回（午前の部と午後の部）実施した。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式での講座「いにしえ倶楽部」を２回おこなった。

【いにしえ倶楽部　夏スペシャル】

実施日	内容	会場	内容	参加者数
令和７年８月２日（土）午前の部	邪馬台国の女王・卑弥呼の鏡を作ろう	埋蔵文化財調査センター研修室	金属鏡づくり	40 名
令和７年８月２日（土）午後の部	邪馬台国の女王・卑弥呼の鏡を作ろう	埋蔵文化財調査センター研修室	金属鏡づくり	40 名
				合計　80 名

【いにしえ倶楽部】

実施日	実施日演題	講師	参加者数
令和７年６月６日（土）	しまねの発掘最新情報	神柱靖彦・吉松優希	40 名
令和８年３月８日（日）	弥生時代のマジカルアイテム　分銅形土製品の謎にせまる	藤原孝大	27 名
			合計　67 名

4　「ふるさと島根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材としている。

番号	貸出セット名（セット番号）	申請者	使用目的	貸出期間
1	縄文狩猟セットＡ（1）	松江市教育委員会　学校教育課	配信授業で、学習教材として利用するため	６月16日～29日
	縄文採集セットＢ（5）			
	縄文土器セットＢ（7）			
2	その他	松江市教育委員会　学校教育課	配信授業で、学習教材として利用するため	６月30日～７月２日

※職員の子ども塾等での利用は含まない。　　合計　１団体４セット

5　心に残る文化財子ども塾

県内の小中学校および特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材として、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業をおこなった。

番号	学校名	開催日	対象学年	参加人数	テーマ・主題等	体験活動等
1	松江市立美保関中学校	5/15（木）	１・２	2	古代体験	火おこし
2	松江市立古志原小学校	5/22（水）	6	101	はにわ作り体験と松江市の古墳時代	はにわ作り
3	島根県立益田養護学校	6/11（水）	中学部２・３	4	益田市の古墳と勾玉づくり	勾玉作り
4	益田市立中西小学校	6/12（木）	6	14	益田市の古墳と勾玉づくり	勾玉作り 遺跡見学
5	松江市立本庄小学校	6/13（金）	6	12	古墳時代～薄井原古墳の見学をしよう～	遺跡見学
6	松江市立恵曇小学校	6/16（月）	6	16	はにわ作り体験と松江市の古墳文化	はにわ作り
7	大田市立五十猛小学校	6/17（火）	6	7	縄文・弥生人の生活を知ろう～古代食づくり体験～	古代食作り
8	松江市立義務教育学校八束学園	6/18（水）	6	26	古代の八束学園周辺の歴史とお金について学ぼう	和同開珎作り

番号	学校名	開催日	対象学年	参加人数	テーマ・主題等	体験活動等
9	松江市立持田小学校	6/18（水）	6	39	古墳時代の持田地区について	遺跡見学
10	雲南市立阿用小学校	6/19（木）	6	11	地域の歴史と火おこし体験・古代食づくり	火おこし 古代食作り
11	奥出雲町立仁多中学校	6/19（木）	2・3	4	土器作り体験、地元から出土した土器に触れる	土器作り
12	安来市立安田小学校	6/20（金）	1	14	弥生時代のくらしにふれてみよう伯太町の遺跡から見える人々のくらしと勾玉づくり	勾玉作り
13	奥出雲町立阿井小学校	6/23（月）	6	12	銅鏡作り体験と奥出雲町の歴史	金属鏡作り
14	松江市立揖屋小学校	6/25（水）	6	54	古墳時代～奈良時代の揖屋小周辺の古跡について	遺跡見学
15	奥出雲町立布勢小学校	6/25（水）	6	10	布勢の遺跡と勾玉づくり	勾玉作り
16	大田市立志学小学校	6/26（木）	6	5	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
17	浜田市立波佐小学校	6/26（木）	3～6	10	古代の生活を知ろう～古代食作り体験～	古代食作り
18	出雲市立四絡小学校	6/27（金）	6	94	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
19	飯南町立頓原小学校	6/27（金）	6	10	古代の人々の生活（お金）について学ぼう	和同開珎作り
20	雲南市立西小学校	7/ 2（水）	6	26	地域の歴史と鏡づくり	金属鏡作り
21	松江市立竹矢小学校	7/ 3（木）	6	55	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
22	安来市立能義小学校	7/10（木）	6	5	古代の人々の文化や生活に触れてみよう火おこし体験、勾玉作りを通して見える古代の人々の生活	火おこし 勾玉作り
23	松江市立宍道小学校	7/11（金）	6	44	弥生時代、古墳時代を知る	勾玉作り 古代衣装体験
24	江津市立江津東小学校	7/11（金）	6	16	古代人の生活に触れてみよう	はにわ作り 古代食作り等
25	松江市立川津小学校	7/14（月）	6	107	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
26	出雲市立斐川東中学校	9/ 5（金）	1	86	斐川の古墳や埴輪について知ろう	はにわ作り
27	出雲市立多伎中学校	10/ 8（水）	1	27	多伎町内（多伎中校区）の遺跡、文化財、歴史文化を学ぶ	遺跡見学
28	出雲市立多伎小学校	10/15（水）	6	18	石見銀山の歴史と価値を知ろう	地域学習

6　インターンシップ

学校および希望者からの依頼を受け、大学生の受入れをおこなった。

実施日	学校等	実施内容
8月25日～28日	島根大学学生１名、広島大学学生１名	研修・保存処理・現場の見学と実習・活用事業・整理作業等

7　教員のための博物館の日

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を島根県立古代出雲歴史博物館と共催で年１回開催している。今年度もこれまでと同様に「教員のための博物館の日」として、島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施した。今年度は出雲地域と石見地域の２ヵ所でおこなった。

【出雲地域】

日　時：令和７年８月１日　13：00 ～ 15：30

会　場：古代出雲歴史博物館　講義室・体験学習室

主　催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

参加者：７名

内　容：13:00 ～ 14:00　埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明

14:10 ～ 15:00　ワークショップ（低融点和同開珎づくり）

15:00 ～ 15:30　まとめ・質問・意見交換

【石見地域】

日　時：令和７年８月７日　13：00 ～ 15：30

会　場：浜田教育センター　第１研修室・工芸室

主　催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

参加者：４名

内　容：13:00 ～ 14:00　埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明

14:10 ～ 15:00　ワークショップ（低融点和同開珎づくり）

15:00 ～ 15:30　まとめ・質問・意見交換

８　見学等の案内

当センターでは展示室を開庁時に開放しているほか、学校や各種団体等より事前申し込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曽志公園の案内をおこなっている。

実施日	見学者（団体）	時間	人数	見学案内	体験活動
令和７年４月18日	日本ケルト協会	60 分	10 名	所内	
令和７年６月２日	島根県教育委員会委員	80 分	5 名	所内	金属鏡づくり
令和７年８月21日	松江市教研小学校社会部	180 分	10 名	所内	勾玉づくり・火おこし体験

９　職員の講師派遣

各種団体等からの依頼を受け講演会や発掘調査指導のため職員派遣をおこなった。

派遣日	内容	場所	派遣依頼者	講師
令和７年６月14日	清原太兵衛顕彰会にかかる研修会	鹿島公民館	清原太兵衛顕彰会会長	椿　真治
令和７年７月５日	むきばんだやよい塾	米子市公会堂	NPO 法人むきばんだ応援団団長	椿　真治
令和７年７月５日	八幡鹿島山遺跡発掘調査報告書作成に伴う指導会	松江市埋蔵文化財調査課加賀事務所	松江市長	稲田陽介
令和７年８月３日	『出雲国風土記』にみえる古代の朝山	朝山コミュニティセンター	朝山コミュニティセンター	平石　充
令和７年９月20日	月イチガク「墓場放浪記 in 温泉津～港から出る石・入る石～」	大田市温泉津町温泉津地内	島根県立三瓶自然館館長	間野大丞
令和７年９月27日	白潟地域の発掘調査におけるレクチャー	ビオトウプ	音楽一直線実行委員会	神柱靖彦
令和７年10月18日	「松江の古墳時代を解き明かす～八幡鹿島山古墳の発掘成果を中心に～」	松江市市民活動センター	松江市長	仁木　聡
令和７年11月３日	古江地区健康まつえ 21 推進隊「地域を学びながら歩く健康ウォーキング」	松江市西浜佐陀町古江地内	古江地区社会福祉協議会会長	東山信治
令和７年12月4・5日	隠岐ジオパーク認定２級ガイド養成講座	島前集合庁舎 隠岐合同庁舎	（一社）隠岐ジオパーク推進機構理事長	久保田一郎
令和７年12月13日	関西大学博物館ミュージアム講座	関西大学博物館	関西大学博物館館長	西村　葵
令和７年12月22日	ジオパーク学各論	島根大学	国立大学法人島根大学学長	平石　充
令和７年12月５日～ 令和８年１月30日	令和６年度西ノ島町物井遺跡発掘調査の出土遺物への専門的意見照会	島根県埋蔵文化財調査センター	西ノ島町教育委員会教育長	林　健亮
令和８年２月18日	松江城下町遺跡発掘調査報告会	白潟公民館	白潟まち歩き楽会	神柱靖彦

10　その他

古志原小学校保護者会「親子古代体験学習」への参加

主　催：松江市立古志原小学校保護者会１・２年部

日　時：令和７年 11 月８日（土）

会　場：松江市立古志原小学校　体育館

内　容：勾玉づくり体験

11　資料の貸出・調査等

（１）資料調査（令和７年１月６日～12 月 26 日までに申請があったもの）

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

【令和６年度１～３月】

番号	資料名	点数	申請者	調査日
1	西Ⅰ遺跡出土玉類ほか	17	荒神谷博物館職員	１月16日
2	西川津遺跡木製品ほか	8	古代出雲歴史博物館職員	１月25日
3	古八幡付近遺跡土製品ほか	7	古代文化センター職員	１月25日
4	原の前遺跡土器ほか	174	埋蔵文化財調査センター職員	２月１日～３月31日
5	上塩冶横穴墓群出土金糸	1	出雲市文化財課職員	２月10日・11日
6	才ノ峠遺跡硯ほか	107	古代文化センター職員	２月13日・14日
7	タテチョウ遺跡出土木製品	2	小松市埋蔵文化財センター職員	２月13日
8	青木遺跡出土絵画土器	1	古代文化センター職員	２月16日
9	隠岐国分尼寺跡遺跡出土瓦ほか	198 箱	古代出雲歴史博物館職員	２月15日・16日
10	尼寺原遺跡出土鉄製品	3	個人	２月16日
11	森原下ノ原遺跡土器ほか	140	古代出雲歴史博物館職員	２月21日
12	門遺跡出土須恵器ほか	9	埋蔵文化財調査センター職員	２月21日～３月８日
13	板屋Ⅲ遺跡出土土器ほか	73	埋蔵文化財調査センター職員	２月26日～３月15日
14	西川津遺跡出土玉類ほか	28	埼玉県県民広聴課職員	２月26日・27日
15	出雲国府跡出土硯ほか	38	古代文化センター職員	３月５日
16	中竹矢遺跡出土玉類ほか	284	奈良女子大学教授	３月12日
17	中野清水遺跡出土土器	1	東海大学教授	３月14日
18	蔵小路西遺跡非掲載資料一式	25 箱	島根大学教授・学生	３月19日
19	下山遺跡土器ほか	28	埋蔵文化財調査センター職員	３月19日～４月15日
20	森原下ノ原遺跡出土石器	342	埋蔵文化財調査センター職員	３月28日～４月30日
21	西川津遺跡石器	1	古代文化センター職員	３月15日～27日
22	古志本郷遺跡出土土器	2	古代文化センター職員	３月28日～

【令和７年度４月～12 月】

番号	資料名	点数	申請者	調査日
23	中山古墳群調査資料（図面・写真類）	一式	個人	２月４日
24	中山古墳群調査資料（図面・写真類）	一式	個人	２月10日
25	西川津遺跡出土石錘ほか	7	福岡県教育庁文化財保護課職員	２月27日
26	サルが鼻洞窟遺跡出土縄文土器ほか	23	埋蔵文化財調査センター職員	４月18日
27	出雲国府跡出土須恵器ほか	10	埋蔵文化財調査センター職員	４月21日～５月２日
28	平所遺跡出土弥生土器	62	古代文化センター職員	４月28日～令和８年３月31日
29	平ノ前遺跡出土土師器	7	古代文化センター職員	４月28日～令和８年３月31日
30	兵庫遺跡出土土師器	17	古代文化センター職員	４月28日～令和８年３月31日
31	森原下ノ原遺跡出土土師器ほか	14	古代文化センター職員	４月28日～令和８年３月31日
32	前立山遺跡出土石棒	1	荒神谷博物館職員	５月８日
33	西川津遺跡出土獣骨（イノシシ）	一式	名古屋大学博物館職員	５月12日～16日
34	原田遺跡出土旧石器	3,977	公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター職員	５月16日
35	神田遺跡出土土師器ほか	49	奈良県立橿原考古博物館職員	５月23日
36	五反配遺跡花弁高坏ほか	2	鳥取県立青谷かみじち史跡公園職員	６月５日

番号	資料名	点数	申請者	調査日
37	五反配遺跡琴板	2	奈良女子大学大学院生	６月15日
38	山持遺跡出土木製品	198	出土木器研究会会員	６月15日
39	出雲国府跡出土三脚硯ほか	34	古代出雲歴史博物館職員	６月23日
40	西川津遺跡出土獣骨（イノシシ）	一式	名古屋大学博物館職員	６月23日～27日
41	森原下ノ原遺跡出土伊予札ほか	88	文化財課世界遺産室職員	６月25日
42	布田遺跡出土土器	57	古代文化センター職員	６月26日
43	姫原西遺跡腰掛ほか	10	文化財課職員	６月26日～27日
44	原田遺跡出土旧石器	109	個人	７月10日～11日
45	西川津遺跡出土動物骨	9	個人	８月４日
46	富田川河床遺跡出土火縄式銃砲ほか	3	松江歴史館学芸員	８月18日
47	出雲国府跡出土壺Ｇ	7	立教大学文学部教授	８月22日
48	三田谷Ⅰ遺跡出土縄文土器ほか	107	九州歴史資料館埋蔵文化財調査室職員	８月28日
49	山持遺跡出土小型特殊器台他	31	松江市立鹿島歴史民俗資料館館長	９月３日
50	大原遺跡出土品ほか	8	古代出雲歴史博物館職員	９月３日
51	中山古墳群調査資料（図面・写真ほか）	一式	個人	９月12日
52	社日古墳出土鉄器	5	岡山大学文明動態研究所職員	９月15日
53	山持遺跡出土弥生土器	48	九州大学大学院大学院生	９月24日～30日
54	富田川河床遺跡出土銅製花瓶ほか	2	個人	10月３日
55	西川津遺跡出土魚骨	71	愛媛大学法文学部教授	10月15日
56	大原遺跡出土分銅形土製品ほか	26	個人	10月24日
57	布田遺跡出土分銅形土製品ほか	8	埋蔵文化財調査センター職員	10月24日
58	林原遺跡出土石製品（石核）ほか	19	荒神谷博物館職員	10月29日
59	社日古墳出土鉄器	5	岡山大学文明動態研究所職員	10月29日・30日
60	西川津遺跡出土鳥形木製品ほか	3	個人	11月７日
61	森原下ノ原遺跡出土石器ほか	200+α	出雲弥生の森博物館職員職員ほか	11月11日・12日
62	史跡山代郷正倉跡出土土師質土器ほか	38	八雲立つ風土記の丘職員	11月17日
63	樅ノ木古墳群出土玉作資料	22	茨城大学大学院大学院生	11月25日
64	下黒田遺跡出土石器	3	埋蔵文化財調査センター職員	11月27日～令和８年３月31日
65	広ノ下荒神遺跡出土金属製品	5	古代出雲歴史博物館職員	12月２日
66	重富遺跡出土硯	3	古代文化センター職員	12月11日～16日
67	島田池遺跡出土須恵器	7	八雲立つ風土記の丘職員	12月25日

（２）写真資料等（令和７年１月６日～12 月 26 日までに申請があったもの）

単行本、雑誌、展示図録等の写真の掲載に応じている。

【令和６年度１月～３月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	御崎谷遺跡出土ダニエル電池容器	1	佐賀県多久市郷土資料館	資料掲載	１月９日
2	青木遺跡出土銅鐸片	1	鳥取県立むきばんだ史跡公園	資料掲載	１月15日
3	荒神谷遺跡出土状況	2	サイネット株式会社	書籍掲載	１月20日
4	荒神谷遺跡出土状況	1	株式会社山川出版社	書籍掲載	１月22日
5	四王寺跡調査区	2	松江市文化スポーツ部	資料掲載	２月４日
6	朝酌矢田Ⅱ遺跡風景	2	読売新聞松江支局	新聞掲載	２月５日
7	五反配遺跡	1	古代出雲歴史博物館	資料掲載	２月７日
8	島根県荒神谷遺跡出土品	1	株式会社エディキューブ	書籍掲載	２月12日
9	西川津遺跡出土品	2	九州歴史資料館	報告書掲載	２月28日
10	富田川河床遺跡空撮写真	1	古代文化センター	論集掲載	３月１日
11	荒神谷遺跡発掘調査状況	10	荒神谷博物館	パネル掲載	３月４日
12	荒神谷遺跡出土状況	1	兵庫県立考古博物館	パネル掲載	３月５日
13	東淵寺古墳出土状況ほか	5	文化財課	サインの修繕	３月10日
14	下山遺跡土層ほか	5	古代文化センター	新聞掲載	３月11日
15	朝酌矢田Ⅱ遺跡遠景ほか	7	松江市文化スポーツ部	インターネット掲載	３月12日
16	荒神谷遺跡出土銅剣	1	株式会社アフロ	書籍掲載	３月14日
17	大橋南詰の地層	1	松江市	書籍掲載	３月14日
18	荒神谷遺跡出土状況	1	株式会社 RCC フロンティア	テレビ番組放送	３月26日
19	荒神谷遺跡出土品	2	神戸市立博物館	図録掲載	３月26日
20	堀田上遺跡出土石鏃ほか	3	市木地区別戦略検討委員会	書籍掲載	３月26日
21	前立山遺跡全景ほか	29	文化財課	文化財課ホームページ掲載	３月28日

【令和７年度４月～12 月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
22	静間城跡空撮	1	株式会社オクタゴン	テレビ番組放送	４月11日
23	荒神谷遺跡銅鐸銅矛出土状況	1	株式会社島根日日新聞社	新聞掲載	４月９日
24	沖手遺跡調査写真	2	益田市教育委員会	パネル掲載	４月18日
25	荒神谷遺跡出土状況ほか	4	株式会社新泉社	書籍掲載	５月21日
26	荒神谷遺跡発掘状況ほか	21	荒神谷博物館	パネル掲載	６月13日
27	荒神谷遺跡出土状況	1	株式会社山川出版社	書籍掲載	６月24日
28	松江城下町遺跡白潟地区発掘調査	6	株式会社アマゾンラテルナ	テレビ番組放送	６月26日
29	島田池遺跡・鷸貫遺跡写真	5	古代出雲歴史博物館	学芸員講座	７月３日
30	荒神谷遺跡出土状況	2	荒神谷博物館	資料掲載	７月４日
31	荒神谷遺跡出土状況ほか	11	荒神谷博物館	特別展	７月９日
32	荒神谷遺跡写真ほか	6	株式会社出雲ケーブルビジョン	テレビ番組放送	７月10日
33	平ノ前遺跡全景	1	古代文化センター	新聞掲載	７月10日
34	原田遺跡住居址遠景	1	個人	勉強会	７月14日
35	荒神谷遺跡出土状況	1	有限会社アート・エフ	書籍掲載	７月14日
36	朝酌矢田Ⅱ遺跡Ｃ区敷遺構	1	大阪府立狭山池博物館	特別展	７月14日
37	大床遺跡写真	2	古代文化センター	新聞掲載	７月15日
38	御崎谷遺跡全景ほか	2	島根大学総合博物館	企画展	７月25日
39	大床遺跡防空監視哨イメージイラスト	1	NHK 鳥取放送局	テレビ番組放送	７月29日
40	埋蔵文化財調査センター内文庫収蔵状況	3	国立歴史民俗博物館	機関誌掲載	８月８日
41	荒神谷遺跡出土状況	1	個人	新聞掲載	８月８日
42	荒神谷遺跡出土状況	1	荒神谷博物館	企画展	８月８日
43	森原下ノ原遺跡写真	4	国立文化財機構奈良文化財研究所	書籍掲載	８月22日
44	五反配遺跡出土花弁高杯ほか	2	鳥取県立青谷かみじち史跡公園	企画展	８月22日
45	いにしえ学習館収蔵展示状況ほか	6	個人	書籍掲載	９月１日
46	荒神谷遺跡発掘状況	3	斐川町寿昌クラブ連合会	広報紙掲載	９月８日
47	荒神谷遺跡出土状況	4	出雲市立中部小学校	授業で使用	９月10日
48	荒神谷遺跡出土状況ほか	11	荒神谷博物館	スライドショー掲載	10月２日
49	蔵小路西遺跡写真ほか	3	出雲弥生の森博物館	企画展	10月２日
50	平所遺跡玉作工房跡	1	古代文化センター	新聞掲載	10月10日
51	タテチョウ遺跡出土品ほか	4	荒神谷博物館	企画展	10月16日
52	朝酌矢田Ⅱ遺跡写真ほか	3	古代文化センター	講座	10月21日
53	松江市上野１号墳出土匂玉・管玉	1	サイネット株式会社	書籍掲載	10月22日
54	朝酌矢田Ⅱ遺跡写真	1	松江市立鹿島歴史民俗資料館	特別展	11月18日
55	上塩冶横穴墓群第 22 支群写真ほか	2	古代出雲歴史博物館	図録掲載	11月18日
56	西川津遺跡全景ほか	11	埋蔵文化財調査センター	遺物展覧会	11月19日
57	姫原西遺跡出土琴板	2	兵庫県立考古博物館	企画展	11月19日
58	出雲国府跡全景	1	古代文化センター	新聞掲載	11月20日
59	古屋敷遺跡写真ほか	3	荒神谷博物館	企画展	11月21日
60	青木遺跡出土絵馬	1	古代文化センター	新聞掲載	12月16日

（3）資料貸出（令和７年１月６日～12 月 26 日までに申請があったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じている。

【令和６年度１～３月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	庵寺古墳群出土土師器ほか	20	大田市教育委員会	講座	２月21日～２月26日
2	姫原西遺跡出土品ほか	64	八雲立つ風土記の丘	企画展	３月13日～６月25日
3	富田川河床遺跡出土切銀	4	安来市立歴史資料館	ミニ企画	３月28日～９月30日

【令和７年度４月～12 月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
4	荒神谷遺跡出土土器ほか	12	荒神谷博物館	常設展	４月１日～３月31日
5	大東高校グランド遺跡出土玉未製品	4	出雲玉作資料館	常設展	４月１日～３月31日
6	原田遺跡出土縄文土器ほか	17	国立歴史民俗博物館	常設展	４月１日～３月31日
7	才の峠遺跡出土須恵器ほか	613	八雲立つ風土記の丘	常設展	４月１日～３月31日
8	古志本郷遺跡出土土器ほか	280	出雲弥生の森博物館	常設展	４月１日～３月31日
9	板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか	21	島根県立三瓶自然館	常設展	４月１日～３月31日
10	石見銀山遺跡出土土壁	1	大田市教育委員会	常設展	４月１日～３月31日

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
11	今佐山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展	４月１日～３月31日
12	前立山遺跡出土土器ほか	221	吉賀町教育委員会	常設展	４月１日～３月31日
13	原田遺跡出土石斧ほか	1,521	古代出雲歴史博物館	常設展	４月１日～３月31日
14	前立山遺跡出土棒状石製品	1	荒神谷博物館	特別展	６月25日～９月19日
15	朝酌矢田地区遺跡出土土師器ほか	35	大橋川コミュニティセンター	展示	７月29日～９月30日
16	御崎谷遺跡出土ダニエル電池容器ほか	17	島根大学総合博物館	企画展	７月30日～10月６日
17	布田遺跡出土台形土器	5	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	８月４日～11月30日
18	蔵小路西遺跡出土縄文土器ほか	51	出雲弥生の森博物館	企画展	８月６日～１月31日
19	五反配遺跡出土花弁高杯ほか	2	鳥取県立青谷かみじち史跡公園	企画展	８月21日～12月10日
20	富田川河床遺跡出土品ほか	830	安来市加納美術館	企画展	９月１日～10月６日
21	富田川河床遺跡出土火縄式銃砲ほか	3	松江歴史館	特別展	９月12日～12月28日
22	山持遺跡出土小型特殊器台	31	松江市立鹿島歴史民俗資料館	特別展	10月１日～１月31日
23	林原遺跡出土黒曜石製品ほか	19	荒神谷博物館	特別展	11月14日～２月27日
24	山代郷正倉跡出土土師質土器ほか	37	八雲立つ風土記の丘	特別展	12月８日～３月19日

（４）その他（令和７年１月６日～12 月 26 日までに申請があったもの）

所蔵する機材や物品の貸出しに応じている。

【令和７年度４～12 月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	縄文土器セットほか	13	松江市教育委員会学校教育課	学習事業	６月16日～６月19日
2	火起こしセット	3	安来市立山佐小学校	火おこし体験	12月５日～12月12日

（５）埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会などの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的にホームページを開設・運用している。

2025 年	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	合計
アクセス数	1,882	1,682	1,668	1,749	1,548	1,762	2,921	3,172	2,665	2,860	2,353	2,197	26,459

Ⅲ　研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究およびテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

研究事業名	内容・名称	当センターの担当者
考古基礎資料調査研究事業：墓制調査	① 前期古墳の基礎的研究 ② 横穴式石室の基礎研究 ③ 弥生墳丘墓の基礎研究	仁木・伊藤智・稲田・大庭・藤原・西村
考古基礎資料調査研究事業：基礎資料収集調査	① 出土品再整理 ② 日韓交流の基礎研究	是田・稲田・藤原・西村
考古基礎資料調査研究事業：生産遺跡調査	① 古代窯業生産調査 ② 近世近代在地陶磁器調査	神柱
風土記調査研究	歴史景観復元調査	平石・林・久保田
隠岐に残る文化財の特質に関する多角的研究	考古資料調査	伊藤徳・久保田・神柱
テーマ研究	鋳物と鋳物師の研究	東山
	前期古墳の研究	仁木・椿
	律令制下における地方行政の研究	平石・久保田・稲田
	幕末維新期の島根県域における地域社会の変容	伊藤徳
	環日本海の考古学的研究	宮本・藤原・西村
	平安中期の国制と山陰地域	平石

Ⅳ　研修事業

1　埋蔵文化財基礎研修

島根県および県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は下記のとおり実施した。

【埋蔵文化財基礎講座】

日　時：令和７年４月 14 日（月）～４月 18 日（金）

場　所：埋蔵文化財調査センター研修室、いにしえ学習館体験学習室ほか

参加者：松江市文化スポーツ部埋蔵文化財調査課１名、埋蔵文化財調査センター４名　合計５名

講　師：島根県教育庁文化財課職員および埋蔵文化財調査センター職員

内　容：（１）島根県埋蔵文化財調査センター所長講話

（２）文化財保護法行政の歩みと文化財行政の現状

（３）埋蔵文化財保護行政の事務手続き

（４）発掘調査に関連した諸科学

（５）考古学概説Ⅰ 旧石器時代・縄文時代

（６）考古学概説Ⅱ 弥生時代

（７）考古学概説Ⅲ 古墳時代

（８）考古学概説Ⅳ 奈良・平安時代

（９）考古学概説Ⅴ 中近世

⑽ 遺構・遺物の実測概論・実習

⑾ 文化財写真概論・実習

⑿ 報告書の作成と収蔵・活用

⒀ 発掘調査の計画と安全管理

【実技講座Ⅰ】

日　時：令和７年６月５日（木）・６月６日（金）

場　所：埋蔵文化財調査センター研修室、東百塚山 20 号墓

参加者：浜田市教育委員会文化振興課１名、埋蔵文化財調査センター４名　合計５名

講　師：島根県埋蔵文化財調査センター職員

内　容：（１）測量の基礎

（２）実測実習Ⅰ　レベル・平板等測量機材の取り扱い

（３）実測実習Ⅱ　調査現場でレベル移動・杭打ち

（４）実測実習Ⅲ　調査現場での墳墓測量 / トータルステーションの取り扱い

（５）実測実習Ⅳ　調査現場での墳墓測量

【実技講座Ⅱ】

申込者がなかったため、実施せず。

【実技講座Ⅲ】

日　時：令和８年２月 18 日（水）
場　所：埋蔵文化財調査センター研修室
参　加：浜田市教育委員会１名、益田市教育委員会１名　合計２名
講　師：島根県埋蔵文化財調査センター職員
内　容：（１）報告書作成の意義と構成・記載事項など
（２）報告書の構成と記載事項
（３）報告書作成の技術Ⅰ―デジタルトレースと図版作成実習―（遺物）
（４）報告書作成の技術Ⅱ―デジタルトレースと図版作成実習―（遺構）
（５）報告書の編集―編集ソフトの操作等―

２　埋蔵文化財専門研修

島根県および県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

【第１回】

日　時：令和７年７月 28 日（月）9:10 ～ 15:00
場　所：埋蔵文化財調査センター研修室
参加者：市町村職員５名（うちオンライン受講者３名）
テーマ：製鉄関連遺物の整理・調査・分析について
報告１「製鉄関連遺物の考古学的な観察と整理・調査」
東山信治（島根県埋蔵文化財調査センター　管理課長）
報告２「製鉄関連遺物の金属学的分析とその意義」
鈴木瑞穂（日鉄テクノロジー九州事業所）

【第２回】

日　時：令和７年 12 月 25 日（水）　9:10 ～ 11:55
場　所：埋蔵文化財調査センター研修室
参加者：市町村職員 12 名（うちオンライン受講者８名）
テーマ：製鉄関連遺物の整理・調査・分析について
報告１「『中世山陰の戦争と地域社会』の成果概要」
田村　亨（島根県文化財課世界遺産室主任研究員）
報告２「富田川河床遺跡における中世土師器について」
廣江耕史（島根県古代文化センター特任研究員）

報告３「富田川河床遺跡における貿易陶磁器について」
阿部賢治（島根県埋蔵文化財調査センター専門員）

【第３回】
日　時：令和８年３月４日（水）10:00 ～ 14:50
場　所：埋蔵文化財調査センター研修室
参加者：市町村職員 13 名（うちオンライン受講者４名）
テーマ：令和７年度県内遺跡発掘調査報告会
報告１「松江市・史跡出雲国府跡の調査」
稲田陽介（島根県埋蔵文化財調査センター管理課主幹）
報告２「松江市・団原Ⅱ遺跡の調査」
西村　葵（同　調査第一課主事）
報告３「出雲市・旧海軍大社基地の調査」
久保田一郎（同　高速道路調査推進スタッフ主幹）
報告４「松江市・八幡鹿島山古墳の調査」
永野智朗（松江市埋蔵文化財調査課文化財主任主事）
報告５「雲南市・郡垣遺跡の調査」
志賀　崇（雲南市教育委員会文化財課主幹）
報告６「雲南市・寸丸鉄穴砂鉄選鉱場跡の調査」
角田徳幸（雲南市教育委員会文化財課長）

Ⅴ　会議・講習会等参加

１　会議

（１）全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、研修会および中国・四国・九州ブロック会議に参加した。

① 総　会　令和７年５月 29 日（木）・30 日（金）　鳥取県鳥取市　ホテルモナーク鳥取
② 研修会　令和７年 10 月 23 日（木）・24 日（金）　大分県大分市　平和市民公園能楽堂
③ 中国・四国・九州ブロック会議
開催日　令和７年 12 月４日（木）・５日（金）
開催地　宮崎県庁・西都原考古博物館
議　事　Ⅰ　協議・照会事項等
1　埋蔵文化財保護体制の脆弱な自治体への広域連携あるいは支援等について
2　整理作業員の雇用状況について

3　大学と連携した発掘調査（学生の参加）について
4　資料調査の受入について
5　県で発掘調査した資料等の市町村への譲与について
6　3D データの取扱いについて
7　近代以降の出土品の保存・管理について
8　デジタルデータの保管方針と保管環境について
9　脆弱遺物の管理について
10　遺跡情報の公開と保存の両立について
11　遺跡地図の公開について
12　埋蔵文化財データベース等の管理方法の状況について
13　受託調査事業にかかる発掘調査の設計積算業務について
14　受託調査事業にかかる会計年度任用職員（事務職員）の人件費について
15　発掘調査期間の算定方法について
16　整理作業・報告書作成にかかる期間や必要人役の算定について
17　発掘調査に伴う契約書の取り決めについて
18　埋蔵文化財包蔵地の範囲の考え方について（山城跡）
19　近世・近代遺跡の取扱い基準策定におけるセンターの関わりについて
20　3D 測量ソフトの導入について
21　普及啓発活動の取組と予算獲得のための事業について
22　埋蔵文化財センターの周知広報におけるウェブサイトや SNS の活用について
23　熱中症対策について―労働安全衛生規則の改正を受けて―
24　空調服の取扱いについて
25　熱中症対策のための積算基準における季節係数の導入について
26　酷暑下における発掘調査現場の対応状況や作業実施基準について

Ⅱ　役員について
Ⅲ　令和７年度の文化庁への要望活動
Ⅳ　その他提案事項　等

施設見学　西都原考古博物館　西都原古墳群を視察

（2）全文協中国・四国ブロック文化・文化財行政主管課長会議埋蔵文化財部会担当者会議

開催日　令和８年１月 23 日（金）
開催地　岡山県立図書館　サークル活動室
参加者　11 機関 16 名（島根県を除く）

2　講習会

文化庁が主催する埋蔵文化財担当職員等講習会にオンライン参加した。

開催日　令和８年１月 28 日（水）～ 30 日（金）

3　委員会等

各種団体からの依頼を受け委員会等に出席した。

（1）史跡出雲国山陰道跡整備基本計画策定委員会

開催日　令和８年２月６日

開催地　出雲弥生の森博物館

出席者　平石　充

（2）島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会

① 第１回学術研究部会

開催日　令和７年７月３日

開催地　松江市民活動センター

出席者　間野大丞

② 令和７年度定例総会

開催日　令和８年３月 24 日

開催地　松江市役所

出席者　間野大丞

Ⅵ　発掘調査事業

受託事業

令和７年度は２事業２遺跡の本発掘調査をおこなった。事業の内訳は国道 432 号大庭バイパス建設事業、国道 431 号（松江北道路）道路改築事業である。国道 432 号大庭バイパス建設事業では、団原Ⅱ遺跡で姶良 Tn 火山灰の下層よりナイフ形石器を主体とする石器群を確認した。国道 431 号（松江北道路）道路改築事業では、井上古墳群１区で古墳時代前期の土師器や黒曜石の石鏃などが出土した。

学術調査

史跡出雲国府跡では政庁域北側の調査をおこなった。遮蔽施設の可能性がある柱穴や水成堆積層をともなう大型土坑が確認され、政庁域の景観や施設変遷を考える上で重要な成果が得られた。

墓制調査では、松江市鹿島町堀部１号墳（前方後円墳）および松江市大草町東百塚山 20 号墓（四隅突出型墳丘墓）の発掘調査を実施した。堀部１号墳の調査では、墳丘構造や築造時期などを探るため 14 本のトレンチを設定し、墳丘の築造方法や形態などの知見が得られた。東百塚山 20 号墓では墳丘規模や突出部構造、配石構造、墳頂平坦面の様相を確認することを主目的として調査がおこなわれた。その結果、墳頂平坦面に３基の墓坑が確認されたほか、墳丘規模が 15 m程度であることや墳丘の築造方法などがあきらかとなった。

試掘・分布調査

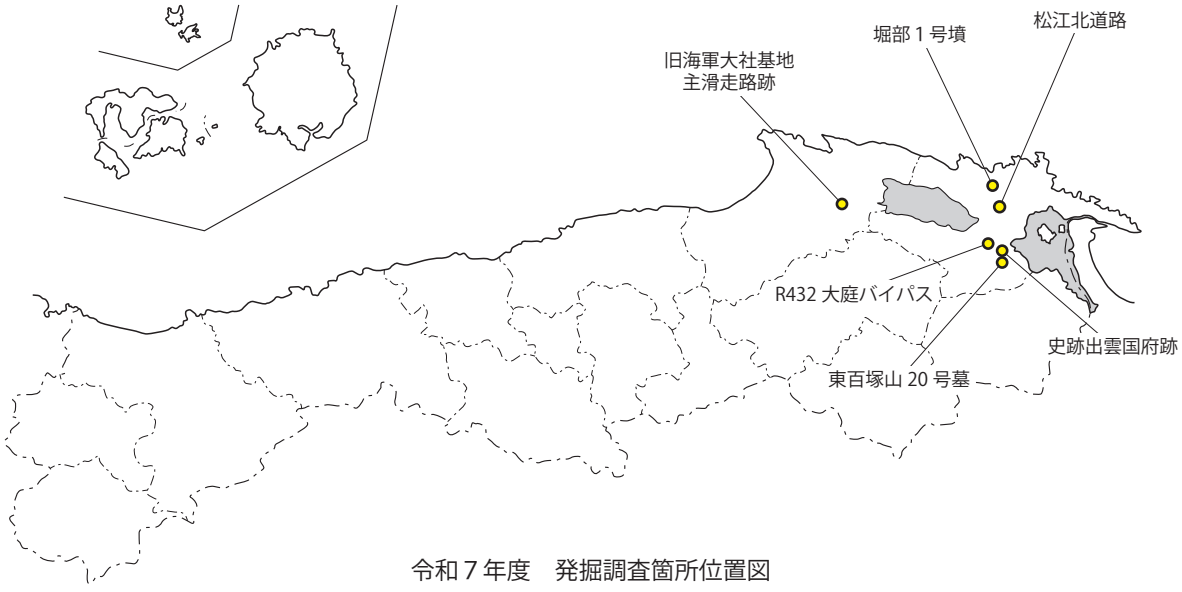
一般国道 191 号益田西道路建設事業予定地内、一級河川江の川直轄河川改修事業予定地内、松江北道路建設予定地内、大庭バイパス建設予定地内、国道 431 号（森山西工区）改良工事予定地内、鉄塔建替工事予定地内の試掘調査および分布調査を実施した。

旧海軍大社基地主滑走路跡

出雲児童相談所移転建設にともなう調査を実施した。

報告書作成

今年度は江の川直轄河川改修事業の船津遺跡（桜谷鉾跡）と船津遺跡（下層）、斐伊川水系大橋川河川改修事業の朝酌矢田Ⅱ遺跡（Ｅ・Ｆ・Ｋ・Ｌ区）と松江城下町遺跡（白潟１区・７区）、国庫補助事業の史跡出雲国府跡の報告書を刊行した。



令和７年度　発掘調査箇所位置図

1　国道 432 号大庭バイパス建設に伴う発掘調査

事業概要　この事業にかかる調査は、島根県土木部道路建設課から依頼を受けて実施しており、今年度は団原Ⅱ遺跡（1 区）の調査をおこなった。調査期間は 5 月 21 日から 10 月 2 日まで、調査対象面積は 367㎡、調査体制は調査員 1 名、会計年度任用職員調査補助員 3 名で実施した。



団原Ⅱ遺跡位置図（1：25,000 松江）

団原Ⅱ遺跡（1 区）

調査の概要　団原Ⅱ遺跡は松江市南郊の大庭町に所在する。当遺跡のある茶臼山（標高 171.5 m）の南西麓の乃木段丘上には、下黒田遺跡や団原Ⅲ遺跡など 9ヵ所の旧石器時代の遺跡が存在する。

遺跡の標高は 23.4 m前後と平坦であった。基本層序は第 1 層が現代の造成土である。第 2 層が黒ボク土で古代から近世の遺物包含層である。第 3 層が姶良 Tn 火山灰層から黒ボク土への漸移層で、姶良 Tn 火山灰層がブロック状に残っている第 4 層は遺物を検出していない。第 3 層の上面で中世墓 2 基､近世の建物跡 1 棟､鍛冶炉 1 基などの遺構を検出した。第 3 層直下の第 4 層黄褐色ローム層中の標高 22.3 mから 22.2 mまでの間に旧石器が出土した。旧石器は調査区の南東側でまとまって出土している。ナイフ形石器 7 点（瑪瑙 2、玉髄（赤）2、玉髄（黄）1、安山岩 1）を主体とする石器群で出土総点数は 460 点であった。一部に石器ブロックと考えられる集中地点があり、ほぼすべて玉髄で構成されている。その中には石核が 5 点まとまって出土している（半径 1 m以内）が、ほとんどは剥片とチップである。接合資料が 17 組と多数あり、玉髄の自然面の除去を目的とした剥離や、節理の多い部分をはぎ取った剥片が多数接合するなど、旧石器人がこの時採集した玉髄の自然礫を剥離しつつ、内部の良質な部分を目指している様子が観察できる。

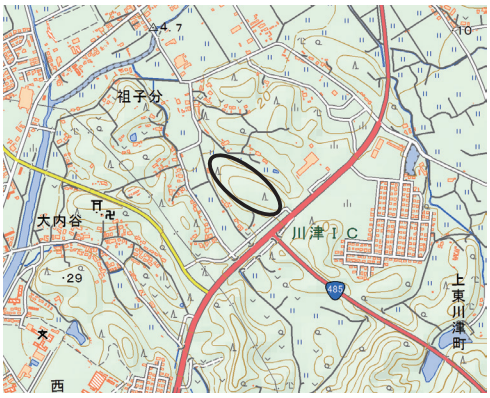
まとめ　今回の調査では、姶良 Tn 火山灰層（約 3 万年前）の直下でナイフ形石器を主体とする石器群を確認することができた。現在、島根県では 69ヵ所の旧石器時代の遺跡が確認されているが、土層から石器製作の年代を特定できた調査は今回で 3 例目となる。島根県内のナイフ形石器の年代を検討する上で大きな成果といえる。また、近隣にない安山岩素材の石器が出土したことから他地域からの移動が推測され、旧石器人の活動を検討する上でも大きな発見といえる。　（大庭俊次）


調査区北東部旧石器出土状況


ナイフ形石器

2　国道 431 号（松江北道路）道路改築に伴う発掘調査

事業概要　この調査は、国道 431 号（松江北道路）道路改築に伴う発掘調査で、島根県土木部道路建設課から依頼を受けて、今年度から本発掘調査を実施している。今年度は井上古墳群（１区）の発掘調査を行った。



井上古墳群位置図（1：25,000 松江）

井上古墳群（１区）

調査の概要　井上古墳群は松江市下東川津町地内に所在する。嵩山（標高 331 m）から北西に向かってのびる標高 20m ～ 30m の丘陵尾根上に立地する一辺 10m 前後の７基の古墳から構成される。調査では丘陵の南東側を１区、北西側を２区に区分し、今年度は１区のうち古墳を除く南西側斜面を中心とする 1,800㎡の範囲を調査した。調査期間は令和７年９月９日から 12 月 13 日、調査員２名、会計年度任用職員調査補助員２名で実施した。１区の古墳を含む残りの部分と２区は令和８年度に調査を実施する予定である。

遺構の概要　発掘調査では遺構は確認できなかったが、縄文時代から近世までの遺物を採集することができた。遺物は主に東南に位置する谷部の上側から出土した。遺物は大半が古墳時代前期の土師器で、そのほかには黒曜石製の石鏃１点、磨製石斧１点、19 世紀中頃の在地系陶器の平型捏鉢の底部片１点が出土した。また、谷部は土層の堆積状態から近世以降に地滑りが起きたと考えられる。

まとめ　今年度の発掘調査では、縄文時代から近世までの遺物を採集することができた。このうち古墳時代前期の土師器は、丘陵尾根上に築造された古墳群との関連が考えられる。古墳本体については令和８年度に調査を実施する予定であり、時期や構造などがあきらかになることで、当地域の古墳時代の様相の解明につながるものと考えられる。

（是田　敦）


北側上空から１区を撮影


西側上空から今年度の調査範囲を撮影

Ⅶ　学術調査ほか

1　史跡出雲国府跡



出雲国府跡位置図（1：25,000 松江）

調査の概要　国庫補助事業として平成 11（1999）年度から出雲国府跡の発掘調査をおこなっている。令和 7 年度は、政庁域北側の遮蔽施設を確認するため、正殿北側の約 24.75㎡を発掘調査した。現地調査は 9 月 3 日～ 12 月 16 日まで、調査員 1 名、会計年度任用職員調査補助員 2 名で実施した。

遺構の概要　幅 3.0 m × 長さ 8.25 m のトレンチ（T76）を 1 ヵ所設定し掘削を行った。調査の結果、南北溝 1 条、東西溝 1 条、土坑 3 基、ピット 5 基、古墳時代中期の大型遺構 1 基、性格不明遺構 1 基を確認した。このうち南北溝は 68 号土坑、東西溝は 80 号溝に比定される。68 号土坑は後の調査で溝と判明した遺構で、今回の調査では南北に延びるプランの西肩を検出した。80 号溝は政庁北側の区画溝と想定されており、調査区東端で溝の西端部が検出することができた。ピットは、調査区南東で検出した P11・P12 が注目される。2 基は重複しており、切り合い関係から時期は P11 → P12 となる。政庁域北東側の遮蔽施設とされている柵列の延長上にあたることから、本遺構が政庁域北側を画する柵列の一部であった可能性が想定される。なお、P11・P12 の西側では同様の柱穴は検出されていない。性格不明遺構は調査区西半で検出した。大型の土坑で、東側以外は調査区外へと続いている。埋土は水成堆積の粘質土で、時期は 9 世紀中葉～ 11 世紀前半頃と推測される。遺構の性格は不明であるが、政庁域の区画を跨がる位置に設けられており、また後殿廃絶後に設けられた 95 号溝と繋がる可能性があることから、当該時期に政庁域の景観が大きく変化していたことがうかがえる。

遺物の概要　古代の遺物は、多くが黒色土および性格不明遺構の埋土から出土している。出雲国府跡第 6 型式以降の土師器が目立ち、瓦や緑釉陶器なども認められる。注目される資料として、刻書の施された瓦があげられる。出雲国分寺創建期の平瓦の凸面に「少」の字が確認される。

まとめ　今年度の調査では、遮蔽施設の可能性があるピットや、政庁域を跨る性格不明遺構などが確認され、政庁域の景観や変遷について具体的な知見を得ることができた。　（稲田陽介）


P11・P12（南西から）


性格不明遺構（北東から）

2　考古基礎資料調査研究（墓制調査）

島根県埋蔵文化財調査センターと島根県古代文化センターは、「考古基礎資料調査研究（墓制調査）」事業の一環として、島根県内に所在する重要古墳・墳丘墓の調査を行っている。今年度は、松江市指定史跡堀部１号墳および島根県指定史跡東百塚山 20 号墓の発掘調査を実施した

（1）堀部１号墳

調査の概要　堀部古墳群は松江市鹿島町の講武平野北側の丘陵上に位置する。島根大学考古学研究会による測量・試掘調査によって 12 基の古墳で構成されることがあきらかとなっており、平成 16（2004）年に鹿島町指定史跡（現・松江市指定史跡）に指定されている。

古墳群中の最高所に位置する堀部１号墳は、令和５～６年度に古代文化センターによって測量・発掘調査が行われ、全長約 70 mの前方後円墳であることが判明したほか、埋葬施設が竪穴式石槨である可能性が高まるなどの知見が得られた。一方で、築造時期や墳丘構造などの基礎的な情報について課題が残ったことから、令和７年度は、堀部１号墳の墳丘構造、築造時期などの基礎的な情報を得ることを目的に 14 本のトレンチを設定し、発掘調査を実施した。

遺構の概要　後円部では盛土、流土、地山の堆積を確認している。旧表土は認められなかった。後円部墳頂では、埋葬施設の被覆粘土外側（墳丘斜面側）で裏込め、あるいは掘り込み墓坑の埋土の堆積がみられ、その下層からは地山面から掘り込まれた柱穴状の落ち込みを確認した。後円部斜面では地山面を掘り込んだ溝状の落ち込みを検出した。落ち込みの中には炭化物が多く含まれており、位置から作業道などの可能性が考えられる。テラス付近に設定したトレンチでは、盛土は確認できなかった。以上の成果から、後円部の構築にあたっては旧表土も含めて地山を成形し、後円部上段に盛土を施し、テラス付近から下段にかけては地山削り出しで成形していることがわかった。

前方部に設定したトレンチでは、後円部に近い部分は表土、地山、前方部前端付近では表土、盛土、旧表土、地山の堆積を確認した。前方部の盛土は前方部前端に近い部分のみ施工されている。前方部側面に設定したトレンチでは墳裾とみられる傾斜変換点を確認したが、傾斜変換点の外側（谷側）や墳丘外でも盛土、旧表土が認められることから、尾根を広げて墳丘を築造していた可能性がある。


堀部１号墳全景

墳丘外に設定したトレンチでは盛土、流土、旧表土などを確認した。盛土は、墳丘の盛土との施工方法の違いや周辺地形の様子から、後世の道の掘削にともなう上げ土の可能性がある。

遺物の概要　遺物は表土から須恵器が出土したが、いずれも奈良時代以降の皿と甕片で古墳の築造時期を示すものではない。墳頂部盛土内からは玉砂利が出土している。令和６年度にも確認しており、盛土に際して玉砂利を散布している可能性が想定できる。

まとめ　今回の発掘調査では、墳丘構造や墳丘形態について大きな成果を得ることができた。詳細な築造時期は不明であるが、墳丘形態などから古墳時代前期の全長約 70 mの前方後円墳であると考えられる。

（吉松優希）

（2）東百塚山 20 号墓

調査の概要　東百塚山 20 号墓は、松江市大草町の大草丘陵上に立地する県指定史跡東百塚山古墳群の一角に所在し、平成 26（2014）年度に行われた測量調査および発掘調査によって四隅突出型墳丘墓であることがあきらかにされている。令和 7 年度の調査では、これまで不明瞭であった墳丘規模や突出部構造、配石構造、墳頂平端面の様相を確認することを主目的とし、墳頂平端面や墳丘斜面、突出部に 4 つの調査区を設定した。なお、調査にあたっては墓坑などの遺構は検出にとどめることを基本とし、一部攪乱等を利用した断面観察を実施している。

遺構の概要　墳頂平端面中央付近では、墓坑 3 基と小土坑 17 基を検出した。墓坑は 3 基（ST01 ～ 03）が並列に配置され、いずれも墓坑上面より土器砕片が多量に出土した。また各墓坑にはプラン周囲を巡る複数の小土坑が検出されたほか、墓坑内の木棺陥没坑上部では、盛り上げられた土を確認している。墳頂平坦面西側で検出した ST01 は、他の 2 基と比べてやや小型のプランをもつ。墓坑北東隅の攪乱を断割りした結果、墓坑の深さが約 0.56 mであること、墓坑内の堆積土として棺の覆土、裏込め土、床土あるいは床面整地土などを確認することができた。ST01 の東側には、不整隅丸長方形の大型プランを呈する 2 基の墓坑（ST02・ST03）が並列して配置されており、中心的な埋葬と評価できる。ST02 では、墓坑中央やや西よりで拳大程度の角柱礫が認められ、この周囲には器台が据え置かれていた状況が確認された。ST03 は立木のため遺物の集中出土は確認できなかったものの、墓坑中央付近で比較的多く出土している。また、墓坑西側で表土面であるが割石が出土しており、ST03 あるいは ST02 にともなう標石の可能性が考えられる。

墳丘北東部では北東隅の突出部を検出し、これにともなう配石を確認した。検出した突出部は地山削り出しによる成形を主体とし、盛土による整形と推測される。なお、地山削り出しによる成形は墳丘外にもおよんでいる。墳丘斜面には貼石、裾には敷石と列石が確認でき、特に南側斜面では整った配石が確認できる。墳丘南側斜面の調査では、地山削り出しによる墳丘基盤層成形後に盛土による墳丘構築が行われていること、地山削り出し部分に配石が施されていること、20 号墓南裾が斜面より北側に位置することなどがあきらかとなった。また、墳丘外斜面側では完形の甕が据えられた土坑を検出した。甕の時期は後期後葉頃に比定される。丘陵斜面と墓域の境界で検出された土坑であり、20 号墓に関連する遺構と評価できる。この他、20 号墓墳頂西端から隣接する 97 号墳にかけて調査をおこない、丘斜面中腹から裾にかけて貼石と敷石、列石を確認した。配石は調査区内南側で湾曲しており、調査区外南側に突出部が続く状況が想定できる。

まとめ　今回の発掘調査で、墳丘方丘部規模が 15 m程度であることがあきらかとなり、一辺 10 m程度の小型の四隅突出型墳丘墓が主体となる松江市域においては比較的大型であることが判明した。墳丘構造としては配石が確認でき、基本的には貼石・敷石・列石を持つものの、墳丘南側斜面においては敷石が施されないことや、貼石は墳丘斜面全体に施されるのではなく、地山削り出し部分にともなうことなどがあきらかとなった。墳頂平坦面では 3 基の墓坑が検出された。各墓坑には多数の土器および礫が伴い、木棺陥没坑上部の盛土やプランを巡る小土坑が付随することから、墓上施設を用いた葬送儀礼が行われたことが想定される。ただし、今回の調査では掘削を最小限にとどめているため不明な点が多く、詳細は今後の課題である。（今福拓哉）



東百塚山 20 号墓　墓坑検出状況

3　考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

本事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施し、当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理をおこない、その内容をあきらかにするとともに、県民をはじめ一般に広く利用できるようデータベース化を図ることを目的としている。

今年度より、飯南町に所在する志津見ダムの建設に関連して発掘された縄文時代の遺跡を対象とし、今年度は『門遺跡』（島根県教育委員会 1992・93 年調査）の出土品について分類・データベース入力等の整理作業を行った。作業によって、門遺跡では２点目となる土偶など、特徴的な遺物を確認した。

（藤原孝大）

4　保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された多くの遺物は、木製品が水漬けパックに、金属製品が酸化防止システムでパックされた状態で「仮保管」されている。この「仮保管」状態では遺物の劣化が進みやすく、展示などでの活用に制限がかかる。これらの問題を解消するために、年間を通じて継続的に保存処理作業を進めている。

水漬けの木製品は、主にトレハロースを含浸させる方法で保存処理を行っている。自然乾燥した木製品は、アクリル樹脂を塗布または含浸することで強化し、遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆、強化を行っている。処理後の遺物は温湿度管理下で保管し、上記以外の材質の遺物についても脆弱なものに対して随時処置を施している。

赤外線観察・Ｘ線撮影について、当センターで調査・整理、保存処理している遺物のほか、市町村教育委員会から依頼を受けた遺物も申請があれば随時行っている。

令和７年度　作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理または一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表１～４のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮し、保存処理計画を作成した。

古代出雲歴史博物館の展示や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整し保存処理を進めている。Ｘ線撮影は表４のとおり実施し、これらの分析結果は報告書作成等に反映している。

（木林俊英）

①　保存処理業務実績

表１　新規処理　木製品（18 点）

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数
国道 431 号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書３　青木遺跡Ⅱ					
青木遺跡	36 図 -P01	大型杭	トレハロース	含浸中	8
	36 図 -P02				
	36 図 -P03				
	36 図 -P04				
	36 図 -P29				
	40 図 -P110				
	36 図 -P114				
	36 図 -P180				

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数
一般国道９号（三隅益田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書３　上古市遺跡					
上古市遺跡	60 図 -4（1, 3, 4, 6, 7）	建築材	トレハロース	含浸完了	10
	非掲載　228	不明			
	非掲載　228（破片）				
	非掲載　228-3				
	非掲載　621-10				
	番号なし				

表２　新規処理　金属製品（40 点）

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	点数
冨田川河床遺跡発掘調査報告書３						
富田川河床遺跡	15 図 -11	鋤先	鉄	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド B72）塗布	処理済	5
	15 図 -14	ヘラ				
	48 図 -5	鍋				
	48 図 -7					
	非掲載					

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	点数
国道 485 号線道路改築事業（松江第五大橋道路）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書１　南外２号墳・勝負遺跡						
南外 2 号墳	14 図 -17	古銭	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	11
	14 図 -18					
	14 図 -19					
	14 図 -20					
	14 図 -21					
	14 図 -22					
	14 図 -23					
	14 図 -24					
	14 図 -25					
勝負遺跡	41 図 -6					
	54 図 -17					

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	点数
国道 431 号道路改築事業（川津バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書９　金クソ谷遺跡４区・一の谷古墳						
金クソ谷遺跡４区	図版 8　写真のみ	古銭	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	1

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	点数
一般県道矢尾今市線地方道路交付金事業（大塚工区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書２　高浜Ⅰ遺跡						
高浜Ⅰ遺跡	10 図 -15	古銭	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	12
	12 図 -6					
	45 図 -1					
	45 図 -2					
	45 図 -3					
	45 図 -4					
	45 図 -5	刀子か	鉄	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸		
	53 図 -7	古銭	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸		
	53 図 -8					
	53 図 -9					
	53 図 -10	煙管				
	54 図 -3	鉄鏃か	鉄	クリーニング・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸		

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	点数
一般国道９号（静間仁摩道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書７　大国地頭所遺跡						
大国地頭所遺跡	50 図 -1	簪	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	7
	51 図 -1	古銭				
	51 図 -2					
	51 図 -3					
	51 図 -4					
	51 図 -5					
	51 図 -6					

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	点数
一般国道９号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書６　京田遺跡２区・中上Ⅱ遺跡						
中上Ⅱ遺跡	43 図 -14	簪	銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂（パラロイド B72）含浸	処理済	4
	43 図 -15					
	43 図 -19	古銭				
	43 図 -20					

表３　石製品・土製品　（２点）

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数	備考
一般国道９号安来道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書西地区２　中山遺跡・巻林遺跡						
中山遺跡	17 図 -1, 18 図 -1	石製骨蔵器	遺物強化（バインダー液塗布）	処理中	2	

②　X線撮影

表４　X線撮影（2,410 点）　※令和７年４月１日～令和８年２月 28 日までに依頼があったもの

施日	依頼者	遺跡名	点数	備考
５月	島根県埋蔵文化財調査センター	白潟 3C 区、3D 区	991	
		白潟 3A 区、3C 区、3D 区	978	
７月	島根県埋蔵文化財調査センター	益田試掘	1	
		白潟 3A 区、3C 区、3D 区	12	
９月	島根県埋蔵文化財調査センター	大庭バイパス、白潟 1B 区	7	
		富田川河床	3	
	松江市埋蔵文化財調査課	向山古墳１号墳	400	破片含む
10月	島根大学	伝大和国	10	
11月	島根県埋蔵文化財調査センター	富田川河床	2	
	古代文化センター	東百塚山	2	
２月	古代文化センター	臼コクリ	4	
合計			2,410	

5　試掘確認・分布調査

（1）試掘確認調査実績

事業（予算）	事業名	名称等（試掘実施時）	所在地（地番）	現地調査期間	調査対象面積	実施した調査（トレンチ面積合計）	調査概要	本調査の要否（本調査面積）	調査員
確認調査（国事業）	一般国道191号益田西道路建設事業予定地	要注意箇所 1	益田市戸田町（戸田町イ 780 外）	5月19日～6月５日	1,550㎡	トレンチ３ヵ所（18㎡）	遺構・遺物なし	否	伊藤智 阿部賢
		要注意箇所 2	益田市戸田町（戸田町イ 778 外）		4,300㎡	トレンチ３ヵ所（18㎡）	集石および近世以降の陶磁器	否	伊藤智 阿部賢
		要注意箇所 3	益田市戸田町（戸田町イ 1276 外）		2,600㎡	トレンチ５ヵ所（30㎡）	近代の陶磁器	否	伊藤智 阿部賢
		要注意箇所 4	益田市戸田町（戸田町イ 857 外）		1,360㎡	トレンチ５ヵ所（26㎡）	石垣をともなう神社跡地	要（1,700㎡）	伊藤智 阿部賢
		要注意箇所 22	益田市白上町（白上町イ 1489 外）		510㎡	トレンチ４ヵ所（24㎡）	集石	否	伊藤智 阿部賢
確認調査（県事業）	松江北道路建設予定地	要注意箇所 1-1	松江市西持田町（西持田町 799 外）	6月26日～7月10日	3,810㎡	トレンチ２ヵ所（14㎡）	土師器・遺物包含層	要（3,820㎡）※1-13と合わせた面積	宮本
		要注意箇所 1-4	松江市西持田町（西持田町 1364-1 外）		2,870㎡	トレンチ２ヵ所（12㎡）	遺構・遺物なし※未調査範囲あり	否	宮本
		周知の遺跡 1-13（I42 遺跡）	松江市西持田町（西持田町 801-6 外）		2,890㎡	トレンチ１ヵ所（９㎡）	遺物包含層	要（3,820㎡）※1-1と合わせた面積	伊藤智
		周知の遺跡 1-14（尾山古墳群）	松江市西持田町（西持田町 1361-1 外）		2,600㎡	トレンチ３ヵ所（18㎡）	墳丘区画溝（古墳）	要（2,740㎡）	宮本
		要注意箇所 1-2	松江市西持田町（西持田町 809-2 外）	11月11日～12月３日	10,730㎡	トレンチ６ヵ所（80㎡）	土師器・遺物包含層※未調査範囲あり	要R8継続確認	宮本
		要注意箇所 1-3	松江市西持田町（西持田町 804-1）		9,080㎡	トレンチ１ヵ所（46㎡）	遺物包含層※未調査範囲あり	要R8継続確認	
		要注意箇所 1-6	松江市西持田町（西持田町 443-1 外）		6,190㎡	トレンチ３ヵ所（55㎡）	溝状遺構※未調査範囲あり	要R8継続確認	
		要注意箇所 1-7	松江市西持田町（西持田町 446-1 外）		7,340㎡	トレンチ１ヵ所（18㎡）	遺構・遺物なし※未調査範囲あり	要R8継続確認	

事業（予算）	事業名	名称等（試掘実施時）	所在地（地番）	現地調査期間	調査対象面積	実施した調査（トレンチ面積合計）	調査概要	本調査の要否（本調査面積）	調査員
確認調査（県事業）	大庭バイパス建設予定地	①～③地区	松江市大庭町（大庭町 854-1 外）	5月12日～5月14日	1,200㎡	トレンチ８ヵ所（54㎡）	①地区で柱穴（古代）・遺物包含層（古代）	①地区要（24㎡）要継続確認	宮本
	国道431号（森山西工区）改良工事予定地	要注意箇所	松江市美保関町下宇部尾（美保関町下宇部尾 54-6 外）	8月４日～8月21日	13,500㎡	トレンチ６ヵ所（108㎡）	近代の木簡	否	伊藤智

（2）分布調査実績

事業（予算）	計画事業名	所在地	調査期間	市町村協力など
分布調査（国事業）	一級河川江の川直轄河川改修事業予定地	江津市桜江町	令和７年９月４日	
分布調査（民間事業）	鉄塔建替工事予定地内	松江市西忌部町	令和８年２月17日	松江市

6　旧海軍大社基地主滑走路跡

調査の概要　旧海軍大社基地は昭和初期に廃川となった斐川町の新川跡を利用して 1945 年３～６月の間に建設された。大滑走路の規模は 1,500m × 60m。調査期間は範囲・内容確認調査が令和７年６月 19 日～７月 31 日、本調査は同 10 月６日～ 12 月 24 日、調査面積 340 ㎡、調査体制は調査員４名、会計年度任用職員専門員１名、会計年度任用職員調査補助員１名である。



遺跡位置図

遺構の概要　滑走路面に、コンクリート打設時に生じる多数の「目地」を確認した。一部では目地に沿って打ち込まれた型枠の杭痕跡が確認でき、杭の深さや間隔があきらかになった。所によって、コンクリートが薄く破損が著しい箇所や、反対に厚くて状態の良い箇所の差異、盛り土の厚さの差異が認められた。破損が著しい箇所には、材質不明の硬い物質を貼りつけて補修した跡も確認された。表面に黒い付着物が残っている箇所が複数確認された。偽装用に塗布されたタールの可能性がある。一部の付着物は厚く硬質で、アスファルトとみられるものもある。コンクリート舗装面を貫通する径 10㎝前後の孔を複数確認した。セクションが観察できるものは、まっすぐコンクリート下へ貫通し、深さ 30cm 程度まで影響が及んでいるものもあった。機銃掃射等の弾痕ではなく、「水抜き」用の可能性が大きいと判明した。

まとめ　コンクリートの厚さ、盛り土の厚さ、型枠の杭など、施工の実情・材料の供給・工事の精粗を示す情報が複数個所で得られた。また、水抜きのために穿孔された孔など、戦後～現在までの利用状況の一部があきらかになった。

（久保田一郎）


目地


杭列跡

Ⅷ　県内調査一覧

市町村など

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者・届出者	発掘担当者	発掘面積（㎡）	発掘予定期間	
1	集落跡 貝塚 その他の遺跡	矢野遺跡	出雲市矢野町 727-1	文財第 1 号 R7.4.1	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	須賀照隆	12.0	7.4.10 ～ 7.4.10	集合住宅
2	生産遺跡	菅谷鉧跡	雲南市吉田町吉田地内	雲教文第 20 号 R7.4.7	雲南市教育委員会 教育長　小田川徹哉	志賀　崇	108.0	7.4.21 ～ 7.12.26	遺跡整備 保存目的の範囲内容確認調査
3	その他の遺跡 （城下町跡）	中世七尾城下町遺跡	益田市七尾町イ 540-4、540-5	益教文第 9 号 R7.4.9	益田市教育委員会 教育長　領家芳明	原　浩平	10.00	7.4.14 ～ 7.4.18	その他の建物（建売）
4	集落跡	中津上手側跡・木幡家住宅遺跡	松江市宍道町宍道 1335 番地	埋文第 15 号 R4.15	松江市長　上定昭仁	江川幸子	18.04	7.4.15 ～ 7.4.30	その他の建物（近世町屋）
5	集落跡	松本遺跡	松江市乃木福富町松本	埋文第 17 号 R7.4.17	松江市長　上定昭仁	森山優花	770.63 （追加面積 44.63）	6.8.26 ～ 7.5.30	宅地造成
6	集落跡	土井ノ内遺跡	松江市坂本町字小林 266 番 1・267 番 1・字下行田 269 番	埋文第 36 号 R7.4.25	松江市長　上定昭仁	川西　学	97.5	7.4.30 ～ 7.6.30	集合住宅
7	集落跡	大庭小原遺跡	松江市大庭町字小原 1100 番 5	埋文第 49 号 R7.5.2	松江市長　上定昭仁	岩本真実	38.3	7.5.7 ～ 7.5.8	個人住宅
8	集落跡	大庭小原遺跡	松江市大庭町字小原 1100 番 5	埋文第 57 号 R7.5.12	松江市長　上定昭仁	岩本真実	8.3	7.5.19 ～ 7.5.22	個人住宅
9	集落跡	渡橋沖遺跡	出雲市渡橋町 909 番 1、909 番 4	文財第 89 号 R7.5.15	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	12.0	7.5.21 ～ 7.5.21	集合住宅
10	散布地	八幡鹿島山遺跡	松江市八幡町字的場 282	埋文第 61 号 R7.5.14	松江市長　上定昭仁	永野智朗	16	7.5.19 ～ 7.6.30	保存目的の範囲内容確認調査
11	集落跡	長廻Ⅱ遺跡	松江市上乃木四丁目 2597-1	埋文第 107 号 R7.6.2	松江市長　上定昭仁	小山泰生	4.5	7.6.3 ～ 7.6.5	宅地造成 水道
12	集落跡	福富Ⅰ遺跡	松江市乃木福富町松本字天場 649 番 2	埋文第 83 号 R7.6.2	松江市長　上定昭仁	廣濱貴子	3,028.88	7.6.5 ～ 7.12.26	宅地造成
13	古墳	山代方墳	松江市山代町 570-10	埋文第 123 号 R7.6.9	松江市長　上定昭仁	川西　学	67.0	7.6.10 ～ 7.7.4	個人住宅
14	城下町跡	中世七尾城下町遺跡	益田市幸町口 1836 番 3	益教文第 82 号 R7.6.19	益田市教育委員会 教育長　領家芳明	原　浩平	5.40	7.6.24 ～ 7.6.30	個人住宅
15	製鉄遺跡	寸丸鉄穴砂鉄選鉱場跡	雲南市吉田町川手地内	雲教文第 221 号 R7.7.16	雲南市教育委員会 教育長　小田川徹哉	志賀　崇	60.0	7.7.25 ～ 7.12.26	保存目的の範囲内容確認調査
16	生産遺跡	篠ノ谷遺跡	松江市宍道町上来待 4285-2	埋文第 247 号 R7.7.30	特定地方公共団体 松江市長　上定昭仁	森山優花	40.0	7.8. 1 ～ 7.11.28	開発事業 道路
17	城下町遺跡	松江城下町遺跡	松江市雑賀町	埋文第 291 号 R7.8.5	松江市長　上定昭仁	岩本真実	4.5	7.8.6 ～ 7.8.7	開発事業 集合住宅
18	城下町	中世七尾城下町遺跡	益田市幸町口 1837-1	益教文第113号 R7.8.12	益田市教育委員会 教育長　領家芳明	原　浩平	3.24	7.8.20 ～ 7.8.29	個人住宅
19	城下町	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町後田口 412 番、412 番 1、417 番	津教委第396号 R7.8.11	津和野町教育委員会 教育長　岩本要二	渡辺　聡	4	7.8 中旬 ～ 7.9 上旬	防災施設
20	城館跡	国府尾城跡	隠岐郡隠岐の島町港町 21 番地	隠教社第 29 号 R7.8.22	隠岐の島町教育委員会 教育長　野津浩一	野津哲志	400	7.9 ～ 7.12.19	保存目的の範囲内容確認調査
21	生産遺跡	志学カジヤ田遺跡	大田市三瓶町志学ハ 168 番地 2、ハ 171 番地 2	大教石第10859号 -2 R7.8.1	大田市教育委員会 教育長　武田祐子	遠藤浩巳	300.0	7.8.18 ～ 7.12.31	農業基盤整備事業
22	城下町	中世七尾城下町遺跡	益田市本町 3-27	益教文第125号 R7.8.28	益田市教育委員会 教育長　領家芳明	原　浩平	3.24	7.9.3 ～ 7.9.19	個人住宅
23	城下町	松江城下町遺跡	松江市魚町 7-5 外	埋文第 337 号 R7.9.1	松江市長　上定昭仁	小山泰生	25.0	7.9.2 ～ 7.9.5	その他 雨水渠
24	散布地	矢原遺跡	浜田市三隅町矢原 553-1、555-1	教文第 283 号 R7.9.8	浜田市教育委員会 教育長岡田泰宏	藤田大輔	24.0	7.10.1 ～ 7.12.26	ダム
25	散布地	松ノ前Ⅱ遺跡	松江市上東川津町 1189-1	埋文第 346 号 R7.9.10	松江市長　上定昭仁	岩本真実	9	7.9.12 ～ 7.9.19	土地区画整理
26	街道跡	松江杵築往還	出雲市大社町日御碕 1201-1 番地外	文財第 382 号 R7.9.8	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	31.5	7.9.16 ～ 7.9.26	道路
27	集落跡	土器遺跡	松江市東出雲町揖屋字土器 543-3、中西 535	埋文第 360 号 R7.9.16	松江市長　上定昭仁	前田詞子	48	7.9.17 ～ 7.10.10	宅地造成
28	散布地 集落跡	高西遺跡	出雲市塩冶町 1710-7	文財第 420 号 R7.9.24	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	須賀照隆	12.0	7.9.29 ～ 7.9.29	集合住宅
29	集落跡	団原Ⅱ遺跡	松江市大庭町字高天 199-5	埋文第 378 号 R7.9.26	松江市長　上定昭仁	小山泰生	4.5	7.9.29 ～ 7.9.29	その他の建物（公民館）
30	散布地	上沢Ⅳ遺跡	出雲市上塩冶町 2859-2、2847-27	文財第 408 号 R7.9.19	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	15	7.10.6 ～ 7.10.10	宅地造成
31	古墳	飯梨穴神古墳	安来市飯梨町 161、162、162 続 1、163-1	安文第 316 号 R7.9.22	安来市教育委員会 教育長　秦　誠司	舟木　聡	40.0	7.10.1 ～ 7.12.26	保存目的の範囲内容確認調査
32	散布地	中門遺跡	益田市美濃地町口 277-1、口 280-1、口 285-1	益教文第148号 R7.10.2	益田市教育委員会 教育長　領家芳明	原　浩平	24	7.10.6 ～ 7.11.5	保存目的の範囲内容確認調査

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者・届出者	発掘担当者	発掘面積（㎡）	発掘予定期間	
33	散布地	中山丘陵遺跡	出雲市大津町 3570 番地 1	文財第 406 号 R7.9.18	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	黒田祐介	30.0	7.10.1 ～ 7.12.26	学術研究（戦争関連施設の所在確認）
34	集落跡	長廻Ⅱ遺跡	松江市上乃木四丁目 2597-1	埋文第 417 号 R7.10.10	松江市長　上定昭仁	岩本真実	32	7.10.1 ～ 7.10.24	宅地造成
35	集落跡	川合神社周辺遺跡	大田市川合町川合 3103-1 番地、3111 番地、3113 番地、3114-1 番地	大教石第 10627 号 -2 R7.10.15	大田市教育委員会 教育長　武田祐子	野島智実	2,720	7.10.2 ～ 8.3.31	農業基盤整備事業（農業道を含む）
36	散布地	夫手遺跡	松江市手角 471-1	埋文第 426 号 R7.10.21	松江市長　上定昭仁	江川幸子	176.2	7.11.5 ～ 8.3.31	道路
37	散布地 古墓	荻杼Ⅱ遺跡	出雲市荻杼町 128-1、128-2、128-3、128-4、129-1、129-2、129-3、129-4	文財第 506 号 R7.10.31	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	18.0	7.11.6 ～ 7.11.6	宅地造成
38	集落跡 官衛跡 古墳	古志本郷遺跡	出雲市古志町 1326-5、1327-1、1327-5	文財第 516 号 R7.11.10	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	6.0	7.11.1 ～ 7.11.13	個人住宅
39	散布地 官衛跡	郡垣遺跡	雲南市大東町仁和寺 1599	雲教文第333号 R7.11.4	雲南市教育委員会 教育長　小田川徹哉	志賀　崇	120	7.11.2 ～ 8.2.27	保存目的の範囲内容確認調査
40	古墳	狐堀古墳	松江市鹿島町武代字狐堀 413 番 1、413 番 2	埋文第 498 号 R7.11.19	松江市長　上定昭仁	前田詞子	7	7.11.2 ～ 7.12.5	宅地造成
41	城下町遺跡	松江城下町遺跡（天神町 1 番外）	松江市天神町 1 番、1 番 1、1 番 2、1 番 4、1 番 5、1 番 6	埋文第 506 R7.11.21	松江市長　上定昭仁	川西　学	210	7.11.2 ～ 7.12.26	集合住宅
42	散布地	高浜川遺跡	出雲市大社町遙堪 1014、1015、1016	文財第 537 号 R7.11.18	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	6.0	7.11.1 ～ 7.11.19	道路
43	散布地	三絡Ⅰ遺跡	出雲市斐川町三絡 639-1・2	文財第 553 号 R7.11.27	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	6.0	7.11.2 ～ 7.11.28	個人住宅
44	散布地	門曲遺跡	出雲市佐田町上橋波 63-1	文財第 571 号 R7.12.5	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	44.0	7.12.9 ～ 7.12.12	農業基盤整備事業
45	城下町跡	中世七尾城下町遺跡	益田市七尾町 4-41	益教文第220号 R8.1.27	益田市教育委員会 教育長　領家芳明	原　浩平	22	8.2.2 ～ 8.2.27	その他開発（水道関連設備設置）
46	散布地	大庭小学校校庭遺跡	松江市大庭町 976-13、976-14、976-15	埋文第 599 R8.1.27	松江市長　上定昭仁	小山泰生	30	8.2.2 ～ 8.2.6	開発事業 道路
47	古墳	山代方墳	松江市山代町 570-10	埋文第 513 R7.11.26	松江市長　上定昭仁	岩本真実	2.5	7.11.2 ～ 7.12.3	開発事業 個人住宅
48	集落跡 官衛跡 古墳	古志本郷遺跡	出雲市古志町 1085-1、1085-2、1086-3	文財第 714 号 R8.2.2	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	下江裕貴	20	8.2.3 ～ 8.2.9	その他の建物（車庫）
49	集落跡 古墳	築山遺跡	出雲市上塩冶町269番	文財第 723 号 R8.2.5	出雲市教育委員会 教育長　杉谷　学	石原　聡 下江裕貴	40	8.2.9 ～ 8.2.20	開発事業 集合住宅
50	散布地	八斗久保遺跡	松江市宍道町宍道 1007 番 1	埋文第 653 号 R8.2.19	松江市長　上定昭仁	前田詞子	9.0	8.2.26 ～ 8.3.6	その他の建物（蓄電所）
51	散布地	山代遺跡	松江市大庭町墓ノ脇 18 番地 2、18 番 8、18 番 13	埋文第 690 号 R8.3.6	松江市長　上定昭仁	前田詞子	18.0	8.3.9 ～ 8.3.13	宅地造成
52	城館跡	角井城跡	益田市須子町口 654、口 660	益教文第252号 R8.3.9	益田市教育委員会 教育長　領家芳明	原　浩平	12	8.3.11 ～ 8.3.31	保存目的の範囲内容確認調査

県

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積（㎡）	発掘予定期間	
1	集落跡	団原Ⅱ遺跡	松江市大庭町 196、196-3、197-2、199-5、199-6、199-8	島教埋第 18 号 R7.4.14	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	大庭俊次	500	7.5.12 ～ 7.9.30	道路（国道 432 号大庭バイパス建設工事）
2	古墳	堀部 1 号墳	松江市鹿島町北講武 885-1、南講武 937、940、943、944	島教文財第152 号 R7.5.1	島根県教育庁文化財課長（古代文化センター）	吉松優希	405.0	7.5.20 ～ 8.3.31	学術研究（考古基礎資料調査研究（墓制調査）
3	古墳	尾山古墳群	松江市西持田町 1360、1361-1、1362-2	島教埋第108号 R7.6.20	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	18	7.6.26 ～ 7.6.30	保存目的の範囲内容確認調査
4	散布地	I42 遺跡	松江市西持田町 801-6	島教埋第108号の 2 R7.6.20	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	16	7.7.1 ～ 7.7.11	保存目的の範囲内容確認調査
5	散布地 古墳	井上古墳群	松江市下川津町 1351-1、1351-3	島教埋第137号 R7.7.4	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	是田　敦	1,800	7.8.18 ～ 7.12.26	開発事業にともなう道路

Ⅸ　刊行物

1　報告書

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
『船津遺跡（桜谷鈩跡）』一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書８	270	稲田陽介	船津遺跡（桜谷鈩跡）は江の川河口から約４㎞上流の右岸に位置する。令和４（2022）年度には石見焼の窯跡とその作業場（本田窯跡）の調査をおこなっており、本遺跡はその下層で検出された。 令和５（2023）年度の調査では２面の遺構面が確認された。上層のⅢ層遺構群は、明治 10 年頃までに形成された遺構群と想定され、石垣や石組、ピット、瓦の廃棄土坑などが検出された。生産関係の遺物はほとんど見られず、日常的な生活空間の場であったと考えらえる。Ⅲ層遺構群の下からは、近世の高殿が比較的良好な状態で検出された。一部削平を受けているものの、高殿の内部施設や製鉄炉の地下構造などが残されていた。高殿には、礎盤石をともなう押立柱が備えられ、中央には製鉄炉の地下構造、その周辺には小鉄町、炭町、職人部屋などが配置されている。地下構造は、本床・脇小舟・小舟・火渡しからなる本床釣りと、多数の石列が配される下床釣りを確認した。またこれらの南北には、床釣りを燃焼・乾燥させる作業場である跡坪を検出し、内部に瓢箪や煙道などの施設を確認した。これらの施設は互いに連結しあい、一体的な構造として構築されている。高殿は石積で囲まれた盛土上面に構築される。盛土は非常に厚く、基盤層である砂層や礫層を切り込んで作出した平坦面に造成されている。高殿の時期は、出土遺物と自然科学分析から、17 世紀後半から 19 世紀中葉までのいずれかの間に操業されたと推測される。 本遺跡は、文献に登場する桜谷鈩との関連が想定されており、地域の歴史にとって非常に重要な遺跡といえる。今回の調査では、江戸時代の高殿について様々な知見を得ることができ、本遺跡の成果が江の川下流域における近世たたら製鉄の歴史を知る一助となることが期待される。
『船津遺跡（下層）』一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書９	269	林　健亮	江の川河口から約４㎞さかのぼる右岸に位置する遺跡で、令和４・５（2022・2023）年度から継続した下層の調査をおこなった。 近世たたらの下層から 16 世紀の土坑墓を発見し、全身が残る人骨が検出され、銅製小柄や摸鋳銭などが出土した。 土坑墓の下層からは中世と思われる製鉄遺構２面を検出した。この製鉄遺構は本床状遺構を中心に東西に小舟状遺構を備え、本床状遺構から湯溜状遺構に続く構造があきらかになった。AMS 年代測定から鎌倉期に操業された可能性が高いと推測される。 さらに下層からは縄文土器と石器が出土した。もっとも古い土器は縄文時代前期にさかのぼる。 ３ヵ年におよぶ発掘調査で縄文時代からの人々との活動がみられ、中近世におこなわれた製鉄、近代の石見焼生産など、現代にも通じる石見地域の産業の様相が見え、江の川と共に培われた歴史を歩む人々の生活の様子があきらかとなり、地域の歴史を解明する上で、貴重な資料を提供することができた。
『朝酌矢田Ⅱ遺跡（Ｅ・Ｆ・Ｋ・Ｌ区）』斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書４	269	椿　真治 小田七奈 田村朋美	朝酌矢田Ⅱ遺跡では、遺跡北側の丘陵部２ヵ所（Ｅ区・Ｋ区、Ｆ区・Ｌ区）を調査した。Ｅ区・Ｋ区では、縄文時代の包含層や地滑り痕跡、弥生時代前半期の配石木棺墓や土坑墓、弥生時代後期と終末期の集落跡、弥生時代後期の四隅突出型墳丘墓が１基確認された。 Ｆ区・Ｌ区では古代末から中世の遺構や遺物も確認された。 今回の調査によって、弥生時代の墓制に関わる重要な成果を得ることができた。
『松江城下町遺跡（白潟１区・７区）』斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書５	278	東山信治 椿　真治 園山　薫 阿部賢治 伊藤徳広 神柱靖彦 柳浦俊一	松江城下町における商業の中心地として知られる白潟地区のうち、魚町北西部の２ヵ所において発掘調査をおこなった。 いずれの調査区においても現在地番に沿って石列や石垣が確認され、江戸時代から現代まで地割が踏襲されていたことが判明した。 調査地点においては、17 世紀前半から宍道湖を埋め立てて町が形成され、その後も造成や石垣構築を繰り返しおこなって、屋敷地を拡張していたことがわかった。石垣の並びは屋敷ごとに異なることから、基本的に屋敷地単位で造成がおこなわれたと考えられる。 ただし、17 世紀後葉には宍道湖側に面をそろえて石垣が構築されており、舟荷の点検や積み替えをおこなった「渡海場」の整備にともなって町ぐるみで計画された可能性がある。 宍道湖に面した石垣には舟入や荷揚場にともなう遺構が確認されており、宍道湖・大橋川水運の要衝として、町が発展していった様子がうかがわれる。 多種多様な陶磁器などの分析から、当時の白潟商人の活動や生活の様相をあきらかにすることができた。

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
『史跡出雲国府跡 -12-』風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書 28	279	伊藤　智 稲田陽介 岩崎孝平	島根県松江市大草町他に所在する史跡出雲国府跡の発掘調査。本書は令和４～６（2022～2024）年度にかけて実施した発掘調査成果を報告したものである。政庁域を調査し、正殿南側より前殿と考えられる掘立柱建物の南西側の柱穴を確認したほか、その上層から過年度調査区より連続する石敷遺構を確認した。また正殿東側では、東西溝２条とその間に土手状の高まりを検出するなど、政庁域でこれまでに確認されていた各施設の所見を補強する成果を得ることができた。

2　パンフレット

名称	部数	概要
シリーズしまねの遺跡　発掘調査パンフレット 15 松江市近郊・大橋川周辺の弥生墓制―朝酌矢田Ⅱ遺跡の調査成果を中心に―	3,000	令和５・６年度に朝酌矢田Ⅱ遺跡で見つかった標石墓と四隅突出型墳丘墓を中心に、松江市近郊と大橋川周辺の弥生墓制についてわかりやすく解説したパンフレット。A4 カラー８頁。

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 34

―令和 7 年度―

発行　2026 年 3 月

編集　島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0131　松江市打出町 33 番地

【電話】0852-36-8608

【E メール】maibun@pref.shimane.lg.jp

【ホームページ】https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/